

「キーナの森」における昆虫相と散策路との関わり

石川善規 (環境学園専門学校)

はじめに

キーナの森は、神戸市北区に位置する広域公園であり、神戸市の生物多様性保全政策の拠点として、平成29年7月の開園に向け、神戸市や地域住民、学生ボランティア等による公園整備が行われている。本研究では、キーナの森の定例整備活動「もりかつ」の一環として、開園後の自然体験・環境学習等の活動に反映させることを目的とした昆虫相の把握を行ったので報告する。

調査対象および調査日時

立地環境の異なる散策路2ルート（主園路およびBルート）を調査対象とし、目視確認およびスウィーピング法（捕虫網を使用し昆虫類を採集）を用いて7月から10月にかけて計8回、昆虫類調査を実施した。散策路の環境および調査日時を表1に示す。

種の同定については、現地で可能なものは採集後に解放したほか、現地で困難な種については標本を作製して持ち帰り、図鑑等を用い可能な限り種を確定した。

調査結果

本調査で確認された昆虫類のうち、同定できた種数は主園路で92種、Bルートで98種、全体で合計149種であった。

主園路とBルートでの種の出現傾向を探るため、確認された種のうち、頻出する種およびシンボル種を抽出し、出現傾向の把握を試みた（表2）。

主園路では、幅員が広くオープンスペースが存在するため、アサギマダラやシオカラトンボ等の大型の昆虫が確認された他、コナラ等の落葉広葉樹にはヒラタクワガタ等、来園者の興味を惹く甲虫類も確認された。一方、Bルートでは、水田跡（草地）を反映し、オンブバッタやツチイナゴ等の草地生バッタ類が多く確認された。

考察

調査結果より、立地環境の異なる散策路では、種の出現状況も異なることがわかった。理由としては、多くの昆虫類が立地環境や植生、植物を住処や食草として利用しているためと考えられる。

今後の課題としては、春季調査の不足が挙げられる。春季はツツジ類を始めとする多くの植物が開花するため、より多くの昆虫類が来訪する時期である。本調査は夏季～秋季調査となったため、今後、春季調査を実施し、四季を通して昆虫相を把握することで、散策路の周辺環境について、保全エリアや改善箇所を抽出し、今後の公園整備へ活用することが可能となる。また、どの季節にどの散策道を歩けばこんな虫に出会えるといった、来園者が散策を楽しむための園内マップ作成などの有効な資料になるものとする。

表 1. 散策路の環境および調査日時

	主園路		Bルート	
幅員	3.0m		0.9~1.5m	
距離	900m		900m	
立地	尾根沿い		斜面や谷	
環境	コナラなどの落葉広葉樹林			
	伐採跡地		水田跡	
整備	済		未	
調査状況	1回	7/16(14:55~17:55)	9/4(10:00~14:00)	
	2回	8/20(15:00~16:35)	10/8(9:00~12:15)	
	3回	9/10(15:05~16:50)	10/23(10:00~13:50)	
	4回	10/15(14:45~16:50)	10/30(10:00~14:35)	

表 2. 散策路の昆虫類出現状況（一部抜粋）

分類	種名	主園路					Bルート			
		7/16	8/20	9/10	10/15	9/4	10/8	10/23	10/30	
両園路で確認された種										
カメムシ	ハリカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コオロギ	エンマコオロギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
チョウ	アゲハ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	キタキチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
トンボ	リスアカネ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ウスバキトンボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コオロギ	マダラスズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
主園路で確認された種										
カメムシ	モンキツノカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
トンボ	シオカラトンボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
チョウ	モンキアゲハ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ウラギンシジミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ヒメウラナミジャンメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	アサギマダラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クワガタ	ヒラタクワガタ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	スジクワガタ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ガ	シンジュサン	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ヒメジャチホコ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Bルートで確認された種										
トンボ	オオアイトトンボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コオロギ	モリオカメコオロギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	オンブバッタ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ツチイナゴ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
バッタ	トノサマバッタ	●	●	●	●	●	●	●	●	●